



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力（考え）で地域を育てる」地域まちづくりをすすめています。市内各地域のまちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりの活動を地まぢのチカラで情報発信します。

《 活 動 事 例 紹 介 》

昨年度、まちづくり活動助成（スタートアップ部門・団体づくり助成）を受けて活動した12団体が、活動の成果を発表しました。第1部は11階ホールで各団体の成果発表、第2部は初めての試み、喫茶コーナーを貸し切ってディスカッションを開催しました。それぞれ1年間を振り返っての感想や、これから実行したい活動など様々なお話が。中でも3回助成を受けた団体からは、活動初期のよもやま話から始まり、地域の中で成長活動がどんどん広がっていった様、また今後の目標やまちづくりの楽しさを発表いただきました。

後半のディスカッションは、グループに分かれ「これから」について対話しながら交流！お互いにメッセージを送りあったり、今後の決意表明を行ったり、と大いに盛り上がりました。「こういう機会が大切！」「これからの活動に役立てたい！」「と有意義な時間となりました。今後も都市センターを舞台に交流の輪を拡げられたいと思います。

当日
レポ



他団体の発表は
今後の活動の参考にもなります

地まぢNEWS

1年間お疲れさまでした！



第2部は
3グループに
分かれて実施

3回助成を受けた
「こやまバ」ショウホ



センター職員紹介

名古屋都市センター調査課支援班

まちづくりのプラットフォームとして

名古屋都市センター調査課支援班は、活動助成（スタートアップ助成、成長支援・実践活動助成）やアドバイザー派遣、勉強会・交流会の開催、情報発信など、様々な形でみなさんのまちづくり活動を支援しています。

名古屋市が行ってきた「地域まちづくり」制度の窓口が令和4年度から一本化され、新たな交流・活動の広がりが生まれています。

さらに名古屋のまちづくりのプラットフォームとなることを目指して皆様の活動のサポートをしていきます。



今年度の支援班メンバー

Nagoya まちなか ウォーカブルなまちづくり シンポジウム

名古屋のウォーカブルなまちづくりについて、ウォーカブル施策専門家、公開空地等でイベントを実施している事業者の方をお迎えしお話しいただきます。

日時 5/11(土)14:00~16:00
場所 名古屋都市センター
11階ホール

詳細
こちら



プログラム

1. 「Nagoya まちなかウォーカブル戦略」の説明
2. 基調講演
宋 俊煥 氏 山崎大学 大学院創成科学研究科 教授
「ウォーカブルなまちづくりに向けたこれからの戦略と課題」
3. トークセッション
テーマ：名古屋におけるウォーカブルなまちづくりの進め方
■パネリスト
宋 俊煥 氏 山崎大学 大学院創成科学研究科 教授
長崎正幸 氏 (株) ザ・ソーシャル 代表
宇佐見康一 氏 (株) 都市再生機構中部支社 都市再生業務部 担当課長
野田 浩 氏 名古屋住宅都市局 ウォーカブル・景観推進課長
■コーディネーター
加藤義人 氏 岐阜大学客員教授 名古屋都市センター特任アドバイザー

地まぢチャレンジ まちづくりを行う“人”にフィーチャーしたインタビュー



47人目 高井 聖吾さんのご紹介

有限会社笹野空間設計
猪高中学校 PTA会長

笹野 直之さん



Q まちづくりに取り組んできた中でうれしかったこと

A 参加している子ども達の目が生き生きと輝く瞬間が見られることがうれしいです。

Q これから取り組みたいと考えていること

A 子どもたちの意見を取り入れた子どもたちのための建築と一緒につくりたいです。

Q 最後にひとこと

A 仲間との出会いに感謝しています。一緒に話しているとなついつい前向きなことを考えてしまう。アイデアや意見を思いついて言葉が出てきてしまう。そんな仲間たちとワクワクするようなことを考えて実現していきたいです。

生まれ育った名東区で建築設計事務所を営まれている笹野さん。猪高小学校でPTA会長を務めた際に始めた「建築教室」は、一寸角の角材「一寸格子」を使用して避難時に少しでもくつろげるための構造物「くつろぎハウス」（右写真）をこどもたちが自ら設計して作るワークショップ。完成品を他の生徒たちが見に来るときに、組み立てた生徒たちが「建築家が施工後の建物を依頼者に見せるとき」と同じ達成感に満ちた顔をしていたことが大きな発見だったと語る笹野さん。地域のこどもたちに建築の楽しさを伝えられたら、と改めて感じたそうです。昨年度からは猪高中学校の職業体験としてもこの活動を開始し、将来建築家になりたい地域の生徒たちに精力的に思いを伝えています。PTA活動では、前向きな方々と出逢えることに魅力を感じているとのこと。昨年にはくじでPTAの委員を決定することをやめ、手挙げ制に変更。さらに自主的で前向きな明るい風が吹いています。様々な役割で猪高学区を盛り上げる笹野さん。静かに溢れる情熱を語っていただきました！

